

「京都を学ぶセミナー-洛西編」第8回（開催報告）

2021年3月9日
京都学・歴彩館
075-723-4835

2018年度から開始した「洛西の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【洛西編】」第8回を、下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 2021年3月9日（火）13:30~15:00
- 会 場 京都学・歴彩館大ホール
- 参加者数 225名
- 内 容 講 演 清泉女子大学教授 中野渡 俊治
「洛西・大原野社と藤原氏」

■ セミナーの様子と当日の参加者の声

第8回セミナーは大原野社の講演があった。大原野社は山城国乙訓郡に鎮座する。明確な史料はないが、創建に桓武天皇や藤原冬嗣が関わっていたと伝えられている。しかし、この伝承は後の史料に現れるものであり、なぜこの地に藤原氏と関係の深い社が置かれたかは検討が必要とされていた。本講演では桓武天皇と外戚関係、そして藤原氏の存在などを通して、大原野社とその周辺の位置づけについて研究結果が報告された。

遊猟の地・外戚の本拠地・葬送の地として、大原野付近の地は桓武天皇と関係が深かった。また、藤原冬嗣の生母が桓武天皇の後宮に入ったことにより、藤原北家は代々の天皇と外戚関係を結んでいた。妃を介した王権とのつながりを求めた藤原北家が桓武天皇ゆかりの地に藤原氏の氏神を勧請し藤原氏の繁栄を求めたのではないかと報告された。そして、桓武天皇や藤原冬嗣が大原野社創建に関わっていた伝承は創建当初の記憶が活かされているのではないかと指摘された。

「大原野と飛鳥の大原との関係など思いがけない展開が面白かった」、「本日の説明を元に行ってみます」、「紹介された藤原冬嗣や良房の本を読みたい」など参加者から好評を博した。

